

分類		概要	備考
現地	・地域連絡会議(本会)	地域課題の議論の進捗等を報告・議論をする。本会の前後に、実務者による会合を開催して、主な論点を整理する。	年2回開催予定
	地域愛玩動物WG	村民及び観光客が持ち込む愛玩動物に対し①周知協力②把握③拡散防止等の各項目ごとの課題を整理するとともに普及啓発のあり方について議論する。	
	地域外来種拡散防止WG	外来種の非意図的な侵入・拡散の防止や侵入時の緊急対応のあり方について、具体的な対策や試行的な取組を進める。	年2回開催予定
	村民意見交換会	小笠原諸島世界自然遺産に関する地域の課題を幅広く村民の意見を聞く。	
	アノール現地連絡会議	小笠原諸島のグリーンアノール対策について、科学委員会との助言を受けながら、情報の共有、実務上の課題の洗い出し、対策すべき具体的な検討を行う。	アノールWGや兄島の現地視察の前後に開催(年5回程度)
	オガサワラオオコウモリ地域課題	人とオガサワラオオコウモリとの軋轢解消のため、集落・農地対策、ねぐら管理、自然地域での餌資源の確保等についての具体的な取組を行う。	
	生態系保護地域保全管理委員会	小笠原諸島の自然を後世にわたり健全な状態で保全管理するため、植物、動物等に関わる学識経験者、研究者及び地元関係者をもって構成する委員会において検討を行う。	年2回程度
	現地事務局会議	遺産管理に関することについて、事務局間での調整を行う。	月1回程度
内地	科学委員会(本会)	小笠原諸島世界自然遺産の管理に関する科学的な助言を行う。	年1回開催。現地調査を行う。
	新たな外来種対策WG	外来種の非意図的な侵入・拡散の防止や侵入時の緊急対応のあり方について、対応方針をとりまとめる。	
	アノール対策WG	小笠原諸島のグリーンアノール対策について、すべき具体的な検討を行う。	
	父島列島生態系保全管理WG	グリーンアノールを含む外来種対策を戦略的に実施するため、父島列島全体を一つの生態系として捉え、種間相互作用に基づいた順応的な生態系保全管理のあり方を検討する。	
	生態系保護地域保全管理委員会(アドバイザリー会議)	生態系保護地域保全管理委員会において検討する事項に関しての科学的知見等からアドバイスをを行う。	
説明会等	外来プラナリア類対策の説明会、試行的取組の現地視察等	平成26年度に引き続き、父島、母島において、工所用資材や苗等の対策のための試行的な取組を行う。	会議室での説明会のみではなく、現地の視察会等、現場の状況の共有を図るプログラムと併せて行う。
	外来アリ類説明会、対策の実施の現地視察等	父島、母島、属島において、外来アリ類の対策的な取組を行う。特に、ツヤオオズアリを含む、外来アリ類に関する必要な対策を具体的に実施するための説明会を実施する。	
	東平視察会	東平において行っている各種の取組の現状と成果を、村民と共有し、きめ細かな管理のあり方を考える。	
	南島外来植物駆除ボランティア	村民に南島の外来植物の駆除にボランティアで参加してもらうことで、南島の自然の価値とそれを保全する取組を実感してもらう。	
	村民向け現地視察会	兄島等、自然保全の取組の進む属島等の現状を、村民と共有し、自然の現状の共有、新たな外来種を生み出さないための知識の共有を図る。	

(*)このほか、個別の事業の専門家会合や検討会がある。